



SUITA ESAKA ROTARY CLUB

CLUB WEEKLY BULLETIN

創立年月日/1990.2.27
事務所/〒564-0063 吹田市江坂町1丁目23番101号(大同生命江坂ビル12F)
TEL06(6821)0222 FAX06(6821)0206 E-mail:esaka-rc@lake.ocn.ne.jp例会場/新大阪江坂 東急イン・3F 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06(6338)0109 例会日/毎週火曜日 12:30~13:30
会長:西山俊明 幹事:新井性哲 会報委員長:延秀恵

2013年11月12日 第1112回例会(第1111号)

本日の例会

今週の歌 「日も風も星も」

クラブフォーラム

「クラブの財政状況について」

西山俊明 会長

次回例会のお知らせ(11月19日)

卓話 「ロータリー財団月間に因んで」

ロータリー財団委員会

西本健二 委員長

前回〔11月5日〕例会記録

来客

廣瀬 栄二 様(吹田西消防署 副署長)

会長の時間 西山 会長

毎年11月はロータリー財団月間です。当クラブでも、「ロータリー財団月間に因んで」というテーマで西本委員長に後日卓話をお願いしています。ロータリー財団は、1917年、アーチC.クランフ国際ロータリー会長により「世界で良いことをするために」ということで、基金の設置を提案されました。1928年に5,000米ドルまでに成長したこの基金は、「ロータリー財団」と名付けられ、国際ロータリーから独立した、全く別機関となりました。

ロータリー財団の使命は「ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」です。ロータリー財団の標語は「世界で良いことをしよう。(Doing good in the world)」です。

ロータリー財団への寄付は、年次基金寄付(当

出席報告 金馬 委員

【11月5日】

在籍会員 34名(内出席規定適用免除者 10名)

出席会員 27名(内出席規定適用免除者 5名)

ホームクラブ出席率 93.10%

10月15日のMUを含む出席率 93.55%

クラブの今年度の目標は、年間1人当たり150ドル。) 恒久基金寄付(寄付金は使用せず基金として積み立てておき、投資収益のみが財団活動の支援に使用される。)及び使途指定寄付(ポリオ・プラスへ年間1人当たり50ドル。)の3種類があります。そして、これらの寄付金を地区補助金、グローバル補助金及びポリオ・プラス補助金として使用されます。

2013~2014年度から未来の夢計画がスタートしています。2660地区への補助金申請は44件でプロジェクトの総予算3千4百万円に達しており、福家ガバナーもお話しされていましたが、全国的にも飛び抜けて多く、2660地区の運営方法をお聞きしたいという要請が寄せられているといわれていました。当クラブも25周年記念事業と併せて未来の夢計画を検討していくことにしています。この計画の実施が、ロータリーの公共イメージを高めることに繋がると思います。会員の皆様方のご協力をお願いいたします。

関西大学RAC例会出席担当

11月18日(月)・25(月)

出席:北村(雅)、寺井、新井、延、
北村(康)、成松各会員会場:関西大学千里山キャンパス
中央体育館 図書資料室

時間:18:50~19:50

幹事報告

新井幹事

今年度地区大会が2014年2月21日(金)・22日(土)に開催されます。チラシと登録申込書をBOXに配付しました。11月末日までに出欠の申し込みを事務局へお願いします。登録料¥5,000円(全員登録)は、出席委員会で集めていただきますのでよろしくお願いいたします。

第2660地区ガバナー・ノミネー候補者の指名について

大阪ロータリークラブ会員、立野純三氏が2015～2016年度国際ロータリー第2660地区ガバナー候補者に指名されました。

ニコニコ箱

飛田会員 結婚記念日御祝ありがとうございました。

本日分 5,000円

累計 454,000円

11月お誕生日

3日 米谷正夫 会員

10日 田中弘 会員

14日 今村啓志 会員

11月ご主人・ご夫人お誕生日

1日 今村奈緒子 様

5日 栢本義臣 様

23日 芳賀三記子 様

11月結婚記念日

1日 大井清 会員

2日 飛田昭男 会員

3日 東秀夫 会員

9日 北山陽一 会員

9日 田中弘 会員

卓話

「吹田市の消防の現況について」

吹田市西消防署

副署長 廣瀬 栄二 様

吹田市西消防署の副署長をしております廣瀬です。日頃から火災予防へご協力いただき、お礼申し上げます。

吹田市の消防の現況につきまして、まず、昨年、平成24年中の火災、救急概要からご説明申し上げます。

昨年の火災件数は94件で、死者3人、負傷者18人



が発生し、前年比で件数、死傷者、損害額、焼損面積ともに増加しています。こうした火災の原因ですが、放火、てんぷら油火災、タバコ、電気器具の順となっています。

次に救急ですが、昨年の出場件数は、16,221件、搬送人員は14,741人となっています。

消防は火災、救急以外に救助活動やガス漏れと云った警防活動にも対応しており、その件数も増加しています。

こうした事故に対応する吹田市の消防体制ですが、消防署が4、出張所が3、救助隊用庁舎が1の合計8の消防拠点があり、実員は342人いますが、日勤等を除いた通常の災害対応人員は90名弱で決して十分とはいえません。皆さんには基本的な消火、通報、避難能力を身に付けていただきますようお願いいたします。

最後に震災対応についてですが、東海・東南海・南海地震、最悪の場合3連動することも考えられ、その場合、吹田市の震度は6強と予想されています。

消防隊などの救助隊はどんなことをしても被災地に駆けつけますが、それまでの間、ご近所で助け合って救助、消火などを行っていただかなければなりません。

ジャッキやパール等、身のまわりにおいて災害に使える物、吹田市が備えている防災救助資機材、小型動力ポンプ、一時避難場所、広域避難地といったものが、どこにあって、どう使おうといったことをご家族、ご近所、職場で話し合っただけならばと思います。

災害を身近に感じていただき、身近なもので災害に備えていただくということをお願いしたいと思います。

本日は、ありがとうございました。